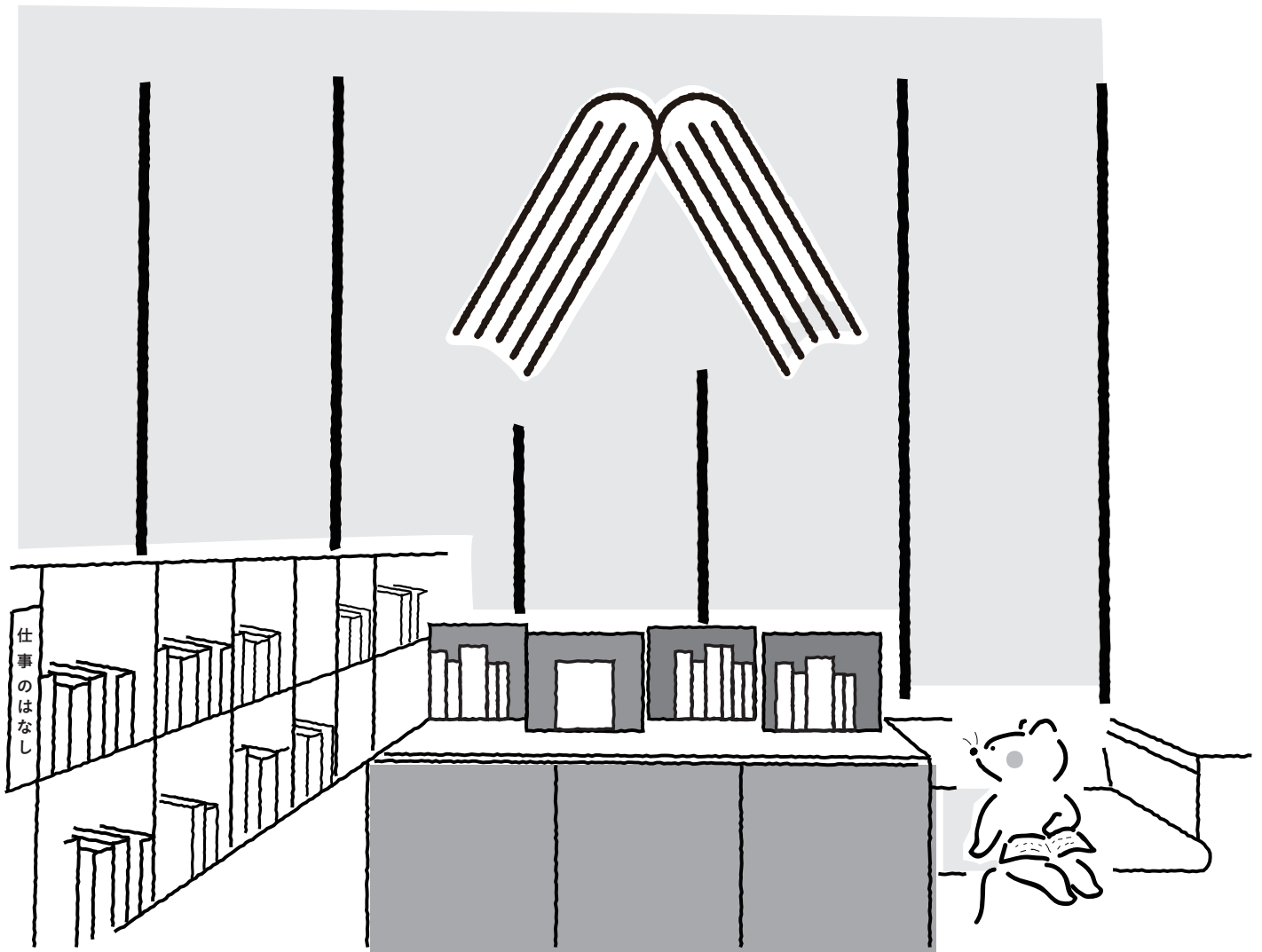
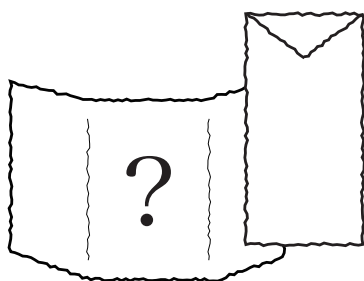


6月

仕事でまよったとき、ふとたちどまって棚をながめてみませんか。



今月の1冊



『何者からかの手紙』 BOOKSOUNDS 発行

今日は誰からの手紙が届いているでしょう？

館内の一角に小さなポストが現れました。ランダムな周期で「何者からか」手紙が届きますので、ぜひこまめに覗いてみてください。BOOKSOUNDS 発行「何者からかの手紙」は「本をつくる」棚に陳列中です。販売早々、人気のシリーズ。

6/4 (日)

本のまち読書会

第2回 ジャケ読！ ～ジャケットを読む～

読書会がはじめてのかたも
お気軽にお越しください！



本を「選ぶ」楽しみを、みんなで共有しませんか？

この読書会は本の顔である「表紙」を読む会です。八戸ブックセンターの館内から本を選んで紹介しあう会なので、事前に本を読んでくる必要はありません。普段あまり本を読まないという方もお気軽にご参加ください。 ※本をご持参いただかなくても参加可能な読書会です。

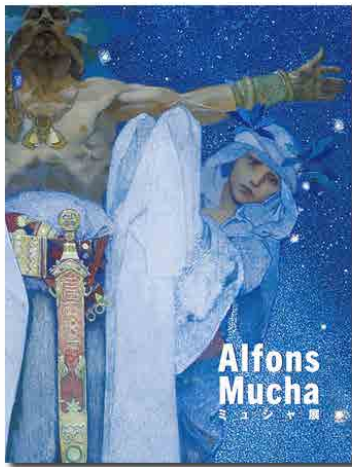
14:00～15:30 / ワンドリンク制 / 要予約

6/10 (土)

本のまち読書会

知の棚へのチチェローネ

～第3回 カタログ「ミュシャ展」を読んでみる～



6月5日まで国立新美術館で開催されていた「ミュシャ展」。アルフォンス・ミュシャの最高傑作《スラヴ叙事詩》全20作品をチェコ国外では世界ではじめて全20点まとめて公開されました。この展覧会の公式カタログが書籍として全国書店で発売され、人気を博しています。その魅力を、実際にページを開いてみることで、じっくりと味わってみませんか。 ※本をご持参いただかなくても参加可能な読書会です。

14:00～16:00 / ワンドリンク制 / 要予約

6/17 (土)

本のまち読書会

『月の満ち欠け』を読む



主人公や登場人物らが八戸出身で、随所に「八戸」というワードが出てくる小説「月の満ち欠け」。非現実的な設定だからこそ描くことができた、驚くべき”トリック”を使ったこの美しい愛の物語を、読み終わった人だけで、深く語りあいましょう。

※当日は、『月の満ち欠け』（岩波書店）をお持ちください。

14:00～16:00 / ワンドリンク制 / 要予約

/ 本のまち読書会は、観覧のみの参加もできます！ \

4/15 (土)
|
6/30 (金)

ギャラリー

飯田竜太展 「のどの文字、間の無光
- The words of the inside margin
and darkness at time.- 」



飯田竜太氏は、田中義久氏とのアートデュオ「Nerhol」の活動で知られ、世界的な評価を得る彫刻家・美術作家です。本展示では、自身が読み終わった本や、捨てられる運命にあった本を素材に、本という物質とそれが持つ意味に焦点を当てた彫刻作品を展示いたします。これほどまとまった量の作品が並ぶ個展の機会は、都内でもめったにありません。ぜひゆっくりとご覧ください。

11:00 ~ 20:00 入場無料

6/24 (土) 飯田竜太展 展示記念トークイベント
飯田竜太 × 内沼晋太郎

「美術と彫刻と本について」



飯田竜太

(いいだ・りゅうた)

1981年生まれ。2014年東京藝術大学先端芸術表現科修了。2004年第22回グラフィック『ひとつぼ展』グランプリ。2015年より日本大学芸術学部美術学科彫刻コース常勤講師。2007年グラフィックデザイナー田中義久とアートデュオNerhol(ネルホル)を結成。Foam Photography Museum(2015年/アムステルダム)での個展、Festival Images(2014年/スイス)に参加など国際的に活動。2016年5月には金沢21世紀美術館にて個展「Nerhol Promenade/プロムナード」を開催。



内沼晋太郎

(うちぬま・しんたろう)

1980年生まれ。numabooks代表。ブック・コーディネーター、クリエイティブ・ディレクター。東京・下北沢「本屋B&B」共同経営者。「八戸ブックセンター」ディレクター、読書用品ブランド「BIBLIOPHILIC」プロデューサーなどをつとめる。著書に『本の未来を探す旅 ソウル』(綾女欣伸氏との共編著・朝日出版社)『本の逆襲』(朝日出版社)

14:00 ~ 15:30 要予約

6/23 (金) ブック・ドリンクス

それぞれおすすめの本を持ち寄って、ドリンクを飲みながら語らう交流会です。
事前申込不要・出入り自由ですので、お気軽にお越しください。



18:30 ~ 20:00 / ワンドリンク制

パワープッシュ作家

佐藤正午さんの『月の満ち欠け』

「パワープッシュ作家」は、八戸ブックセンターが中心となり特定の作家や作品を決めて市全体で盛り上げていく企画です。

平成 29 年 4 月に岩波書店から刊行された「月の満ち欠け」。佐藤正午さんの書き下ろし小説としてはほぼ 20 年ぶりとなる作品で、非現実的な設定だからこそ描きだすことができた美しい愛の物語です。編集を手がけられた岩波書店の坂本政謙さんは八戸ご出身で、作品に出てくる主人公や登場人物も八戸出身、随所に八戸という言葉が登場する作品です。八戸ブックセンターでは、この作品の魅力を生かすために八戸市民のみなさんにさらに知っていただくために坂本政謙さんが選んだ本を館内で陳列したり、「月の満ち欠け」を読む読書会（中頁にお知らせがあります。）を開いたり、さまざまな企画を開催いたします。企画を楽しみながら、ぜひ市内の書店さんや八戸ブックセンターで「月の満ち欠け」をお手にとってみてください！



<https://8book.jp/bookcenter/818/> にて、随時最新情報を更新していきます！



八戸ブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033

青森県八戸市六日町 16 番地 2 Garden Terrace 1 階

TEL 0178-20-8368 FAX 0178-20-8218

開館時間：11:00 ~ 20:00

休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその翌平日）、1/1、および 12/29 ~ 12/31

最新情報・イベントのお申し込みは・・・

web

<https://8book.jp>

こちらもチェック！

twitter

@hachibookcenter

facebook

@hachinohebookcenter